

私たちの町の遺跡

みょうげじ 妙解寺跡

■お殿様が眠る 妙解寺跡

花岡山の東尾根が坪井川に向かって延びた端にある北岡自然公園が妙解寺（みょうげじ）跡で、「熊本藩主細川家墓所」の名称で国指定史跡でもあります。妙解寺は、細川家3代忠利の死後、4代光尚によって建立された菩提寺です。先に忠利が建立した泰勝寺は熊本城の北東に位置し、妙解寺は城の南西に位置することから、両寺によって鬼門・裏鬼門を封じたと理解されています。妙解寺には歴代藩主およびその家族や殉死者の墓が多数ありますが、特に忠利夫妻と光尚の三霊廟と入口の唐門は建造物としても重要なものとして指定を受けています。他にも、橋・門・庭園・石燈籠群・築地塀など多くの遺跡が残され、見所満載の史跡のため多くの見学者が訪れます。

妙解寺は明治4年に廃仏毀釈によって廃寺となり、その後細川氏の別邸となっていました。昭和20年の空襲で焼失し、現在は自然公園として一般公開されています。

平成18年、妙解寺の南に並ぶ塔頭（小院）の一つである智照院跡の墓所で、新幹線関連工事にともない発掘調査が行われました。忠利の三男尚房とその一族の墓8基で、大名家一族の墓がまとめて調査された事例は全国でもほとんどなく、貴重な研究成果が得られました。

熊本市文化振興課埋蔵文化財調査室 網田龍生氏より

↓ 北岡自然公園入口の唐門

↓ 智照院跡の墓所（発掘調査前）

